

先の熊本の震災によって被災された方々とその関係者の方に心よりお見舞い申し上げます事と共に、いなられた方の「冥福をお祈り申し上げます。

6月の定例会は会派市民クラブを代表して質問させて頂きました。主な内容は

八千代市としての危機管理の在り方

市役所本庁舎の耐震について

学童待機児童対策について

地方創生 八千代台まちづくりプロジェクト

観光推進賑わいセンター

八千代市の危機管理と市役所庁舎の在り方について

熊本の震災では市役所庁舎が使用不能になり災害対策に混乱が生じてしまいました。そこで熊本地震クワースの震災が八千代市で発生した場合の対策について質問を続けていく中で八千代市役所本庁舎も熊本で半壊した庁舎とほぼ同等の耐震強度しか満たしていないことが判明しました。

今の地震学では地震がいつ起るかわからないという解りません。しかしながら、100年に一度なのか、10年に一度なのかといった地震が起る頻度については解りません。例えば、首都を含めた南関東で言えば、マグニチュード7クラスの地震が30年以内で起る可能性は70%。これが政府の地震調査研究推進本部の評価であります。南関東直下型地震ではこの1200年余りで、1894年の明治東京地震を始め、霞ヶ浦周辺で地震、浦賀水道地震、関東地震、丹沢地震、北伊豆地震、西埼玉地震、伊豆半島沖地震、伊豆大島近海の地震、伊豆半島東方沖群発地震、1987年 千葉県東方沖地震などが挙げられます。

以上のことから八千代市の危機管理、また、市役所本庁舎の在り方は喫緊の課題である事を指摘させて頂きました。また、本庁舎が全半壊した場合の業務継続計画（BCP）も策定していな

いのは全国で201自治体以上の、国は策定が進まない状況に危機感を持っております。各自治体に改めて策定を求める考えです。本市でも残念ながら業務継続計画は策定されておられませんので早急に業務継続計画の策定をするように強く要望いたしました。

学童待機児童対策について

八千代市は、平成28年度当初において既存の学童保育所の定員の見直しを図り、前年度より100名の定員拡大をしましたが、本年度の入所希望者数が前年度より増加していることから、平成28年6月1日時点で151名の学童保育所の待機児童が生じております。

このような状況に対し3月定例会（平成28年度八千代市一般会計予算「議案」における学童保育等に関する付帯決議を予算委員会が私が出させて頂いた経緯があります。その結果、行政側でもスピード感を持って対応して頂きました。

八千代台東小学校及び大和田第3学童保育所の分室の施設拡充等により定員拡大がなされました。これらの取組により施設定員から5名増加する予定となっております。一定の待機児童解消が図られましたが、未だ全てを解消するには至っておりません。

本来であれば待機児童問題の重要さを考える必要である事を指摘させて頂きました。

地方創生について

八千代市にも地方創生加速化交付金が交付されました。この交付金については行政としていち早く考慮、着手して頂きたいと考えていたが、動きが鈍く会派市民クラブで率先して動き、豊田参議院議員、小林衆議院議員にご指導頂き交付決定に至りました。八千代市の創生にこれからも尽力してまいります。

追伸

今定例会の質問に際し取材に協力して頂いた皆様の声を最大限市政に反映させて頂きました。改めてご意見、ご教授、ご支援頂いた全ての方に御礼申し上げます。



平成28年度 6月議会

～八千代市の危機管理と待機児童対策
地方創生について～

みんなの一步が八千代を変える

2016年 Vol.6 {討議資料}

おざわこうじと八千代の明日を語る会 発行

活動報告



いよいよ地方創生加速化交付金を使った事業、八千代台まちづくりプロジェクトが始動しました！地方創生は従来のような国から地方に対しての一律の施策ではなく、「自分たちの街の問題点は自分たちで解決していく」というものです。

八千代台まちづくりプロジェクトは地域住民や商工業に携わる方、世代を超えてまちづくりを考え実行する。そういった取り組みです。会派市民クラブでも、まちづくりの成功事例や失敗事例、問題点などを調査するために高松丸亀町街づくり会社へ視察に行っていました。

HP <http://ozawa-koji.jp/>

FB <https://www.facebook.com/koji.ozawa.75>

お問合せ先 090-7198-4472

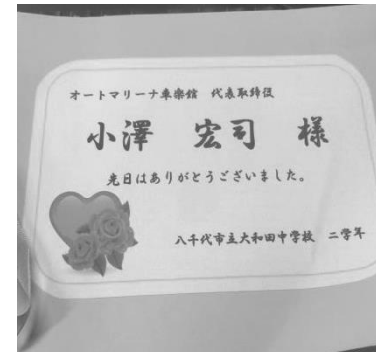
追伸 公職選挙法によりお手紙などで御挨拶は出来ませんが季節も変わり環境の変化などで体調を崩さないように身体にはご自愛ください

活動報告



地域の伝統行事である出羽三山講に参加させて頂きました。山形県ほぼ中央にある羽黒山・月山・湯殿山の総称が出羽三山。三山をお参りすることによって先祖を供養すること共に生きながらにして現在・過去・未来を体験し、穢れに満ちた身をいったん捨て新たな命を抱いて蘇ることができると言われていたそうです。関東の中でも特に千葉県でその風習が根強く残っているそうです。写真は大和田の皆さんと。

今年つつじ祭りも10周年！地域主体の祭りとしては八千代市でも最大規模ではないでしょうか？何か月も前から実行委員会の皆様の協力があった成功する素晴らしい祭りでした！



大和田中学校で地域の先生 ※【自動車販売業】として教壇に立ちました。仕事への想いや次代を担う中学生に常識に囚われない大きな夢を持つように話をさせて頂きました。写真は中学生からの感想文です。